

八千代市立萱田小学校



ホームページURL : <https://www.yachiyo.ed.jp/ekayada/>

今年度のESDの重点目標
萱田小学校の環境を生かして
～保護者・地域とともに取り組むSDGs～

【令和3年度 ESD 実践報告】

01 保護者とともに取り組むSDGs チャレンジ

萱田小学校では、長期休暇などを使って「SDGs チャレンジ」という取組を行ってきた。本年度は、保護者の中から、「自分達ができるSDGsには、どのようなものがあるのかを知りたい」という声が上がった。そこで、本校職員と保護者で考え、取組のヒントとなるよう、「SDGs ゆりの木」というポスターを作成し全家庭に配付した。本年度は、児童・保護者がこのポスターをヒントに、年間を通してSDGsに取り組んでいる。



02 ポルピィ牧場から循環型社会を考える

萱田小学校には、ポルピィ牧場があり、ポニー、羊、ヤギ、ウサギを飼育している。これまでは業者からチモシー（干し草）を購入し餌としていた。しかし、昨年度より、保護者・地域の農家の方々に、人参や大根の皮やキャベツの外葉、出荷できない野菜を持ってきてもらい動物たちに与えるようにした。また、本校は自校給食であり、調理の過程で出る野菜の皮等も動物たちに与えるようにした。その結果、毎日多くの野菜や果物が集まり、それを飼育委員会の児童が動物に与えることで、これまでゴミとして捨てられていたものを有効利用することができるようになった。また、野菜を持ってきた児童が自分でエサを与えることもでき、動物と触れ合う機会も増えた。さらに、動物たちの糞を使って堆肥作りを行い、花壇や学年園の肥料として活用している。捨てればゴミだが使えば資源であるということについてポルピィ牧場を通して日々実践している。

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



03 ユニセフ募金について保護者とともに考える

今年度はユニセフ募金を通して世界の現状と課題について保護者とともに考えるという活動を行った。具体的には、事前学習として、教師が全校各学級で「ユニセフとは何か。世界の現状と課題には何があるか。」ということについて、共通の動画を教材として使用し授業を行った。そうすることで、全校で統一した内容を児童に伝えることができた。なお、この動画は、メール配信システムを使って保護者にも配信し、児童が学校でどのような学習を行っているかを理解してもらった。その上で、児童会の児童が学習して感じたことをメール配信システムで保護者に伝えるという活動を行った。このようにユニセフの募金活動を校内で完結させるのではなく、保護者も児童と同じものを家庭で学ぶことができるようにし、児童の考えを保護者に伝える機会を設定することで、児童、保護者、教師が協力して取り組んでいるという意識を強くすることができたと考えている。

2 飢餓を
ゼロに



16 平和と公正を
すべての人に

